

平成 30 年 2 月

## 神輿とイルカのレリーフ



今月は自宅周辺の報告になります。

地下鉄銀座線の末広町駅浅草方面行きホームに神輿・イルカ・コンピューター基盤をデザインした大きなレリーフ（写真 2m×3.3m）が 12 月 20 日に設置されました。

これは東洋初の地下鉄銀座線の浅草～上野間 開通 90 周年を記念し浅草駅～神田駅までの下町エリアリニューアル事業の一環で設置されたものです。

末広町駅はホーム壁面も黒を基調としホームドアも設置され、以前の末広町駅からは想像できない程の改修ですが、まだ完成ではありません。今後はエレベーターなどバリアフリー化され、改札口前も少し広いスペースが確保され世界のアキバの玄関として整備されます。



さて、「神輿とイルカのレリーフ」ですが作者は第 22 代文化庁長官で東京藝術大学の第 9 代学長の宮田亮平氏です。

宮田氏は、イルカの鍛金作品たんきんで有名な方で日本橋三越新館のエンブレム（写真）も手掛けられ、やはりイルカをモチーフとして使われています。



また、私たちに身近な作品として神田明神の大黒様石造隣りにあるすくなひこなのみこと少彦名命（えびす様）の作成も手掛けています。

千代田区議会 議員

千代田区 監査委員

小林やすお

